

岐腎協事務局だより

岐腎協は 2021 年 50 周年を迎えます

2020 年 10 月 NO.80

■ 地域医療構想の議論再開

国が助言や集中的な支援を行う「重点支援区域」の選定結果公表

団塊の世代全員が 75 歳以上となる 2025 年を見据え、国は入院ベッド数を減らし、病院の再編や統廃合を進める方針を掲げています。

昨年 9 月、厚生労働省は重症患者の医療を担う「高度急性期」および「急性期」ベッドをもつ全国 1455 の公立・公的医療機関について、「がん」や「心疾患」、「脳卒中」、「救急医療」などの診療実績を分析し、「再編統合の議論が必要」と位置付けた 424 病院名を公表しました。その 37%にあたる 157 病院では週 3 回の外来血液透析を行っており、透析患者にとって身近な病院が再編の対象になっています（全腎協の調べ）。

8 月 24 日、5 カ月ぶりに開催された社会保障審議会医療部会では、新型コロナウイルスの影響で止まっていた地域医療構想等の議論を着実に進めていくとの認識が共有され、厚労省は翌日 25 日、地域医療構想の実現に向けて国が助言や集中的な支援を行う「重点支援区域」の選定結果を公表しました。前回の 3 県 5 区域に対し、今回は 6 道県の 7 区域の医療機関名が公表されています（図表）

国はこれら「重点支援区域」に対し、病院や診療所の再編や統合を目指して、▽技術的支援（地域の医療事情に関するデータ提供や病院どうしの意見調整、住民への説明の場に職員派遣など）、▽財政的支援（病床を削減した病院に補助金を増額）を行うことにしています。厚労省は今後も重点支援区域の募集を続け、順次、指定していく方針です。

全腎協では、病院や診療科、入院ベッド数の再編が進めば、自宅から通いやすい透析を受けている病院で入院できなくなったり、近くの病院の専門医がいなくなり、遠方まで受診しなければならぬ心配があり、週 3 回の透析のための通院介護の保障や介護施設入所利用の保障なしに、入院ベッド数の再編などを含む地域医療構想・地域包括ケアシステムの策定を進めることのないよう厚労省に求めているところです。

（参考 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13119.html）

<重点支援区域（2 回目）>

▼北海道（岩見沢市立総合病院、北海道中央労災病院、北海道立江差病院、厚沢部国民健康保険病院、乙部町国民健康保険病院、奥尻町国民健康保険病院、町立上ノ国診療所、上ノ国町立石崎診療所）▼新潟県（県立燕労災病院、新潟県厚生農業協同組合連合会三条総合病院、県立加茂病院、県立吉田病院、新潟県済生会三条病院）▼兵庫県（市立伊丹病院、公立学校共済組合近畿中央病院、市立川西病院、医療法人協和会協立病院）▼岡山県（玉野市民病院、玉野三井病院）▼佐賀県（多久市立病院、小城市民病院）▼熊本県（天草市立牛深市民病院、天草市立栖本病院、天草市立新和病院、天草市立河浦病院）

<重点支援区域（1 回目）>

▼宮城県（公立刈田総合病院、みやぎ県南中核病院、登米市立登米市民病院、登米市立米谷病院、登米市立豊里病院）▼滋賀県（市立長浜病院、長浜市立湖北病院、長浜赤十字病院、セフィロト病院）▼山口県（周防大島町立大島病院、周防大島町立東和病院、周防大島町立橋病院、萩市立萩市民病院、医療法人医誠会都志見病院）

清流 71 号 お詫びと訂正 13 ページ 1 段目 誤（中津川腎友会）・正（中濃厚生病院）

13 ページ 2 段目 金山腎友会 細江身知子 記載漏れ

25 ページ 誤 朝日大学病院 病院長 大橋宏重・正 病院長 日下 義章

全腎協 NO.117 はーと なび よい

【新幹線に「車椅子用フリースペース」ストレッチャー大型車椅子にも対応】

「公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン」が、新幹線車両のバリアフリー化に関する内容について近く改訂される見通しです。

改訂の内容は、新幹線車両新たに車椅子スペース「車椅子フリースペース」を設けるというもので、車椅子スペースを窓側に2以上設けること、長さ2メートル以上の大型車椅子（ストレッチャー式車椅子でリクライニング機能を備えるものなど）のためのスペースを確保することなどが明記される方針です。また、「車椅子フリースペース」の近くには介助者や同伴者のための座席を確保することなども盛り込まれる予定です。

国土交通省では10月2日まで本改訂に関するパブリックコメントを募集しており、意見募集後に正式に改訂発表となる見込みです。



■ 国際 NGO より送迎事業所へマスク提供

「特定非営利活動法人 難民を助ける会」(AAR Japan) より、通院介護支援事業の送迎事業所へ支援物資としてマスクの無償提供が行われました。AAR Japan は全腎協も加盟する日本障害者協議会 (JD) の正会員団体の一つで、国連に公認・登録された国際 NGO です。全腎協も JD を通じ支援物資の提供を受けており、そのご縁が今回のマスク支援につながりました。

商品名 セルリーハイアップル味

一箱 450 粒 (90 粒×5 袋)

2,200 円 (税込み)

手数料・送料込み 500 円

申し込み先・電話 058-214-2497

FAX 058-214-2498

NPO 岐阜県腎臓病協議会

8粒でレタス約1個分の食物繊維 カリウム、マグネシウム、リンをほぼ完全に除去



商品情報⇒「セルリーハイ」は、カリウム・リンを摂取する事なく食物繊維を効率よく補給出来ます。純粋な食物繊維とフラクトオリゴ糖で作られた粒状の食品です。

フラクトオリゴ糖とは⇒バナナなどの甘み成分の一つで、砂糖の約1/3の甘みがあります。人間が摂取してもほとんど消化も吸収もされ

ませんが、大腸に達すると腸内の善玉菌「ビフィズス菌」の栄養源となり、善玉菌を増殖させてくれます。



皆さん便秘の苦しみを思い出して下さい。セルリーハイで毎日、快便・快適な日常生活を送りましょう。顆粒でリンゴ味ですので、食後、小腹の空いたときでも、OKです。事務局 Hさん



特定非営利活動 岐阜県腎臓病協議会

〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉農業会館 3階

TEL 058-214-2497 FAX 058-214-2498 E-mail npo@gijinkyo.jp

作成者：事務局長 高田 裕二